

## 想定される出口

- ①国際プロジェクトにおける研究員。国際研究プロジェクトでの研究成果を創出。例えば、LSHTMが複数の大学と共に推進するワクチントライアルなど感染症対策介入プロジェクトのプロジェクトマネージャー
- ②国際プロジェクトにおける高度専門家。国際実践プロジェクトの推進を担当。例えば、日英が共同で推進する第3国におけるUHC推進介入プロジェクトのプロジェクトマネージャー
- ③上記、①、②にかかるような、国際機関、国内機関(JICA等)、研究所、大学、企業、国際コンサル会社、国際NPO。以上は、国内のみならず、海外の企業、NPO、大学などを想定。



## 博士(グローバルヘルス)授与

### 3年次最終クオーター：博士論文審査・最終試験

#### 2年次～3年次：グローバルヘルス特別研究（必修・12単位）

学位論文の研究計画と倫理手続きを遵守し、研究アドバイザリーボードの助言を得ながら、**国際水準のグローバルヘルス研究**を遂行し、博士(グローバルヘルス)の学位に相応しい、科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた**学位論文(ティシス形式)**を作成する。



**修了要件  
16単位**

**教員・学生は、定期的に進捗状況をACへ報告**

### 1年次最終クオーター：博士研究資格審査(Qualifying Examination)

#### 1年次：グローバルヘルス研究演習（必修・4単位）

各自の研究課題に関するより妥当で質の高い研究方法を立案する。この能力を獲得しつつ、研究指導教員の指導のもと、副指導教員とのディスカッションをもち、**体系的な文献レビュー**を行い、グローバルヘルス研究として価値が高く具体的な研究計画を立案する。

### 1年次第1クオーター：研究指導チームの選定

**教員の指導により、自由科目として、修士課程コースワークを履修**



## 博士課程入学許可

主な入口：TMGH修士課程(博士前期課程)修了者及びLSHTMで修士号を取得した者

## ディプロマポリシー

- ①グローバルヘルス全体を俯瞰する能力と知識を有する
- ②国際共同研究や国際共同プログラムへの参加経験を有し、当該共同研究等において主導して研究・活動する能力を有する
- ③成果を公表して、グローバルヘルス領域の科学研究を推進する能力を有する
- ④科学的知見に基づき、実践においてもインパクトを与えられる能力を有する

グローバルヘルス分野において、研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を備えた人材であり、国際的環境のなかで、グローバルヘルス分野における国際共同研究・実践プロジェクトを推進できる能力を有した者である。

## カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに適合した人材育成を実現するため、グローバルヘルス領域での博士研究の適切な研究領域を選択し、先行研究の十分な精査及び意義のある革新的な研究課題の吟味・決定、必要な知識と技術の修得、研究を遂行し社会に公表する能力を涵養するカリキュラムを提供する。

- ①研究領域の選択に関するカリキュラム(2-3領域のグローバルヘルスゼミの修得)  
先行研究の十分な精査  
批判的読解能力・発表能力
- ②研究計画作成に関するカリキュラム  
意義のある革新的な研究課題を吟味・決定  
研究計画書・プロトコールの作成(演習)
- ③研究技術修得に関するカリキュラム  
実験手技演習  
疫学・集団健康学調査手技演習  
必要な基礎知識・技術取得  
(必要に応じて追加的に修士授業の聴講等による知識獲得も課す)
- ④博士研究チューイング  
博士研究の進捗に合わせた討論・方法と結果のチェック  
実際の論文作成指導

## アドミッションポリシー

- ①グローバルヘルス領域において、博士レベルの研究・実践能力を修得するために必要な基礎および専門知識・技術を有する(知識レベル)
- ②同領域の進展に貢献しようとする向学心を有する(ミッション・精神レベル)
- ③博士号取得後に様々な分野と協働して国際チームの一員としてリーダーシップ・フォローウィップをもって活躍できる能力、柔軟性を備えていること(社会性・国際性・能力レベル)。